# 第４学年　図画工作科学習指導案

１　題材名　　「私たちのフレッシュ本町～感謝を伝えるステッカーをつくろう～」

２　題材の目標　　親しみのある商店の良さを伝えるために，色や形，組み合わせを工夫して作品に表すことができる。

３　題材の評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|
| 形，色，それらの組み合わせが変わると，イメージが変わることが分かり，表したいことに合わせて工夫して表現している。 | 商店の様子から表したいことを見付け，形や色，組み合わせを生かしながら，どのように表すか考えている。 | つくり出す喜びを味わうとともに，形や色などに関わり，進んで製作しようとしている。 |

４　題材と指導の構想

(1)　題材と児童

本題材は，学習指導要領の次の内容を受けて設定する。

> A表現（1）
> イ　感じたこと，想像したこと，見たことから，表したいことを見付けることや，新しい形や色などを思いつきながら，表したいことや用途などを考え，形や色，材料などを生かしながら，どのように表すかについて考えること。
> 〔共通事項〕（1）
> イ　形や色などの感じを基に，自分のイメージをもつこと。

までの教育活動のさまざまな場面で関わってきている。そこで，その関係性をベースに，子どもの作品によって，商店とお客さん，そして子どもがより深く繋がれるきっかけとなることも目指す。

学習を通して，子どもは自分の選んだ商店の魅力やお店の人の思いについて知り，イメージを膨らませる。ステッカーのデザインを考える活動では，ステッカーのデザインを友達に紹介し，アドバイスや意見をもらったり，インタビューをした際に書いたワークシート(インタビューカード)に立ち返ったりすることで子ども一人一人が作品に磨きをかけ，活動を深めていく。

(2)　指導の構想

**1　地域と繋がる**

自分の選んだ商店の魅力やお店の人の思いについて知り，イメージを膨らませる。実際に商店に足を運び，インタビューをすることでお店の魅力や良さについて知る。

また，地域の小路のパンフレット作りに関わる方にゲストティーチャーとして来ていただき，思いを伝えるための工夫や，考え方について学ぶ。

**2　デザインを構想する**

インタビューの内容や，児童のもつお店のイメージを基に，お店の良さや感謝の気持ちを表すデザインを構想する。「かくことが決まらない，どのように表したらいいか分からない」という児童が出ないように同じお店を選んだグループで活動を行う。

また，活動を十分に楽しめるように，タブレット端末の操作に十分に慣れさせる。イラストアプリ(アイビスペイントX)の機能が活用できるよう，効果的な使い方を紹介する。

**3　作品をブラッシュアップする**

一斉指導後，子どもたちを３～４人のグループに分けて活動に入る。グループは選んだお店が異なるよう意図的に編成する。グループでは，友達とアドバイスや悩んでいるところの相談をし合う。そのお店についてよく知らない人の視点から，新たな意見やアドバイスが出ることが期待できる。

5　題材の指導計画

| 時間 | ねらい・学習活動 | 子どもの具体的な姿のイメージ（A評価） |
|---|---|---|
| 1 | 「知る」<br>○伝えたいことを感じ取るための表現方法を知る。<br>・看板やロゴマーク等の参考作品を鑑賞する。 | 身近にあるロゴマークや看板のよさや面白さ，メッセージ性を見つけることができる。(ワークシート) |
| 2 | 「プロに学ぶ」<br>○魅力を伝えるための工夫について知る。<br>・地域の小路パンフレットをデザインした方の講話を聞く。<br>・製作への思いを知る。 | 地域に深く関わる方の作品や話から，思いを形にする時のポイントや地域に発信する時の工夫が分かる。<br>(ワークシート) |
| 3 | 「地域へ足を運ぶ」<br>〇お店の人から情報を集める。<br>・お店について知る。<br>・地域に出掛け，インタビュー活動をする。 | 進んで商店の情報を収集することができる。<br>(ワークシート) |
| 4 | 「表現する①」<br>○お店の良さを伝えるステッカーのデザインを考える。<br>・アイデアスケッチを描く。<br>・タブレット端末のアプリの操作方法について学習する。 | お店の様々なよさから表したいテーマを決め，色や形，組み合わせ等を工夫してアイデアスケッチを描くことができる。 |
| 5 | 「表現する②」<br>〇タブレット端末の使い方を知る。<br>・タブレット端末のアプリの操作方法について学習する。 | タブレット端末の操作方法を理解することができる。(机間巡視)<br>学級のマークを作る活動を通し，機能を活用しながら，自分なりの表現をすることができる。 |
| 6 | 「表現する③」<br>〇お店の良さを伝えるステッカーのデザインを描く(アイビスペイントX)<br>・アナログ→デジタルへと表現を変える。 | 伝えたいイメージを効果的に表そうと，アイデアスケッチを基に，伝えたいイメージを表現することができる。(ワークシート) |
| 7<br>(本時) | 「表現する④」<br>〇デザインをブラッシュアップする。<br>・インタビューカードに立ち返る。<br>・友達とアドバイスし合う | 伝えたいイメージに近づけるためにタブレット端末の機能を効果的に使って，形，色，組み合わせなどを工夫し，表現することができる。 |

| | | |
|---|---|---|
| 8 | 「鑑賞する」(ロイロノートの活用)<br>○できあがった店のステッカーの表現を伝え合う。<br>・自分の作品のテーマや表現の工夫等を説明する。<br>・友達の作品の発想や表現の工夫等を感じ取り，伝え合う。<br>・お店の人に作品を紹介する。 | 友達の作品を鑑賞し，発想のよさや表現の工夫を見つけ，伝え合うことができる。(ロイロノート) |

## 6　本時の計画（７時間目/全８時間）

(1)　本時のねらい

商店に感謝を伝えるステッカーについて，お店の人へのインタビューや友達のアドバイスを基にデザインを考える活動を通して，商店のよさが伝わるような表し方で表すことができる。

(2)　本時の構想

児童はこれまでの学習の中で，自分の選んだ商店の魅力やお店の人の思いについて知り，自分なりのイメージを膨らませてきた。

本時では，前時までにつくったステッカーのデザインを友達に紹介し，アドバイスや意見を貰ったり，インタビューをした際に書いたワークシート(インタビューカード)に立ち返った
りすることで作品に磨きをかける。これまでに学習したタブレット端末のイラストアプリ(アイビスペイントX)の機能を生かし，自分なりの表現ができることを目指す。

児童が作った作品によって，商店，お客さん，そして児童が繋がれるきっかけを作たい。

（３）　本時の展開と評価　　「問題解決型」・「技能習得型」・「単元型」

| 時間 | 学習活動 | 教師の働き掛けと予想される児童の反応 | ■評価の方法<br>○留意点 |
|---|---|---|---|
| | 0　前時の課題とまとめ | 〈学習課題〉<br>感謝を伝えるお店のステッカーを作ろう。<br><br>〈まとめ〉工夫したこと<br>・色をお店のイメージにする。<br>・字を大きくする。<br>・売っているものを入れる。 | ○児童の言葉からまとめを作る。<br><br>・自分が取り入れた工夫をロイロノートに書かせ，整理して考えを共有する。 |
| 15分 | (導入)<br>1　前時までに作った作 | T1　前回までにつくったステッカーのデザインを班の友達に紹介しま | ○学習の流れを確認し，本時の活動を確認 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | 品を友達に紹介する。<br><br>2 友達の作品を見ながらアドバイスをし合う。<br><br>3 インタビューカードに立ち返る。 | しょう。作るときに悩んでいることがあれば聞いてみましょう。<br>C1 何色にしようか悩んでいるよ。<br>C2 もっと大きいほうがいいかな。<br>T2 インタビューカードを出してください。最初はどんなことを書いていましたか。<br>C2 お店は明るいイメージ。<br>C3 温かい感じのするお店だったよ。<br>T3 友達の考えや，インタビューカードの内容を取り入れるともっとすてきな看板になりそうですね。<br><br>〈学習課題〉<br>お店のよさがもっと伝わるステッカーにするには，どのような工夫ができるかな。 | させる。<br><br>○これまでに学習してきたことの写真や資料を提示する。<br><br>○友達との会話の様子を聞きとりながら机間巡視をする。 |
| 20分 | （展開）<br>1 学習の見通しをもつ。<br><br>2 工夫する点を生かし作品を見直す。 | T4 今日やってみようと思うアイデアはどんなものがありますか。<br>C4 お店は明るいイメージだったから，明るい色を入れたいな。<br>C5 もっと線をくっきりさせたい。<br>T5 取り組もうとしたことをワークシートに書いた人から，作品をつくり始めましょう。<br><br>T6 どんな工夫をしましたか。<br><br>〈まとめ〉<br>・売っているものを絵にして取り入れる。<br>・人気商品を大きく描く。<br>・お店の名前の文字を面白い形にする。 など | ■自分なりの表現を突き詰め，工夫しようとしている。(ワークシート)<br><br>○前時の時点で完成したと考える児童に対し，インタビューカードや友達からのアドバイスから，何が工夫できるか助言をする。<br><br>○取り組もうとしている工夫についての発言を板書に残し，困っている児童の参考になるようにする。<br>○児童の言葉からまとめを作る。 |
| 10分 | (終末)<br>1 まとめをする<br><br>2 振り返りをする。 | T7 たくさんの工夫ができましたね。<br>今日の学習の振り返りを書きましょう。<br>1 自分がやってみた工夫<br>2 デザインを作った感想 | ○前時から本時の作品や考えの変容について書かせる。<br><br>■ワークシート |

（4）評価

・伝えたいことを表すための工夫について考え，表すことができる。（B評価）

7　児童の作品